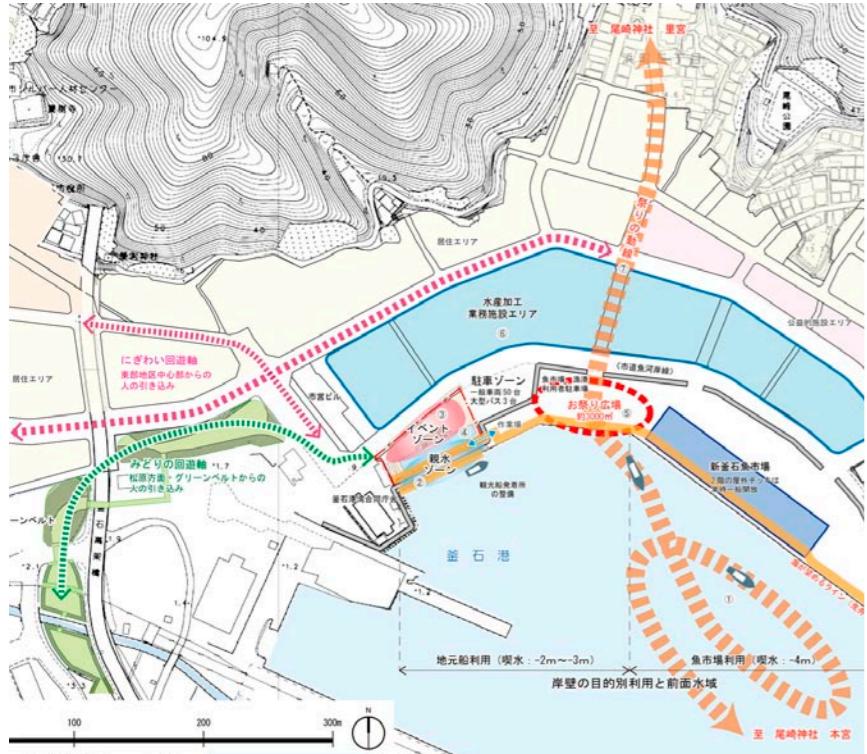


魚河岸地区周辺のゾーニング



概算事業費

項目	金額	備考
■工事費		
(建築工事)		
施設整備	175,500,000円	
(土木工事)		
盛土整備費	9,600,000円	
公園工事費	30,000,000円	
経費	22,968,000円	
■調査設計費		
調査設計費	18,000,000円	建築工事分
調査設計費	2,500,000円	土木工事分
事業費計	258,568,000円	
消費税額	20,685,440円	
合 計	279,253,440円	

※標準的な仕様による概算事業費

整備スケジュール

周辺の復旧・復興事業は、概ね平成27年度末～28年度中の完成を目標に進んでいる。特に魚河岸のにぎわい創出に大きく関係する魚市場は、平成27年度末の完成を予定していることから、隣接するにぎわい創出施設についても、概ね同時期の完成を目指します。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
① 用地取得の調整		→	
② 運営主体の検討等	→	→	
③ テナントリーシング	→		
④ 基本構想・計画	→	※平成25年度までに策定済み	
⑤ 基本設計・実施設計		→	
⑥ にぎわい施設建築工事		→	
⑦ 附帯施設・外構工事			→
⑧ 魚市場工事	→	→	
⑨ 嵩上げ工事(FP3周辺)	→	→	→
⑩ 復興公営住宅(浜町)	→	→	
⑪ 防潮堤工事(FP3周辺)		→	

※平成27年3月時点の予定工程であり、周辺の復興関連工事の事業進捗に応じてスケジュールは適宜、見直します。

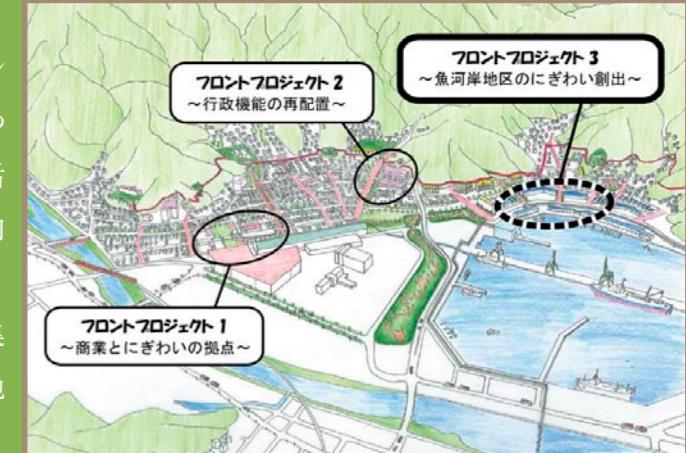
魚河岸にぎわい創出施設整備事業

フロントプロジェクト3 基本計画(概要版)

東日本大震災により甚大な被害を受けた釜石市東部地区において、まち全体の復旧・復興と合わせた土地利用や安全対策の必要性、観光船はまゆりの廃船など、同エリアを取り巻く状況は大きく変わったものの、魚河岸地区の立地特性を最大限に活かしたまちづくりが求められています。

本計画では、魚河岸地区周辺のにぎわい創出を目的としたフロントプロジェクト3の拠点となる「魚河岸にぎわい創出施設整備」について、東部地区における魚河岸地区周辺の役割、資源の有効活用、民間活力を活かした協同・運営の取り組み方針、施設整備内容等を示しています。

また、隣接する新釜石魚市場整備や背後地の水産加工施設集積街区との関連性、東部地区の回遊性も考慮しながら、魚河岸地区周辺のにぎわい創出を目指していくものです。

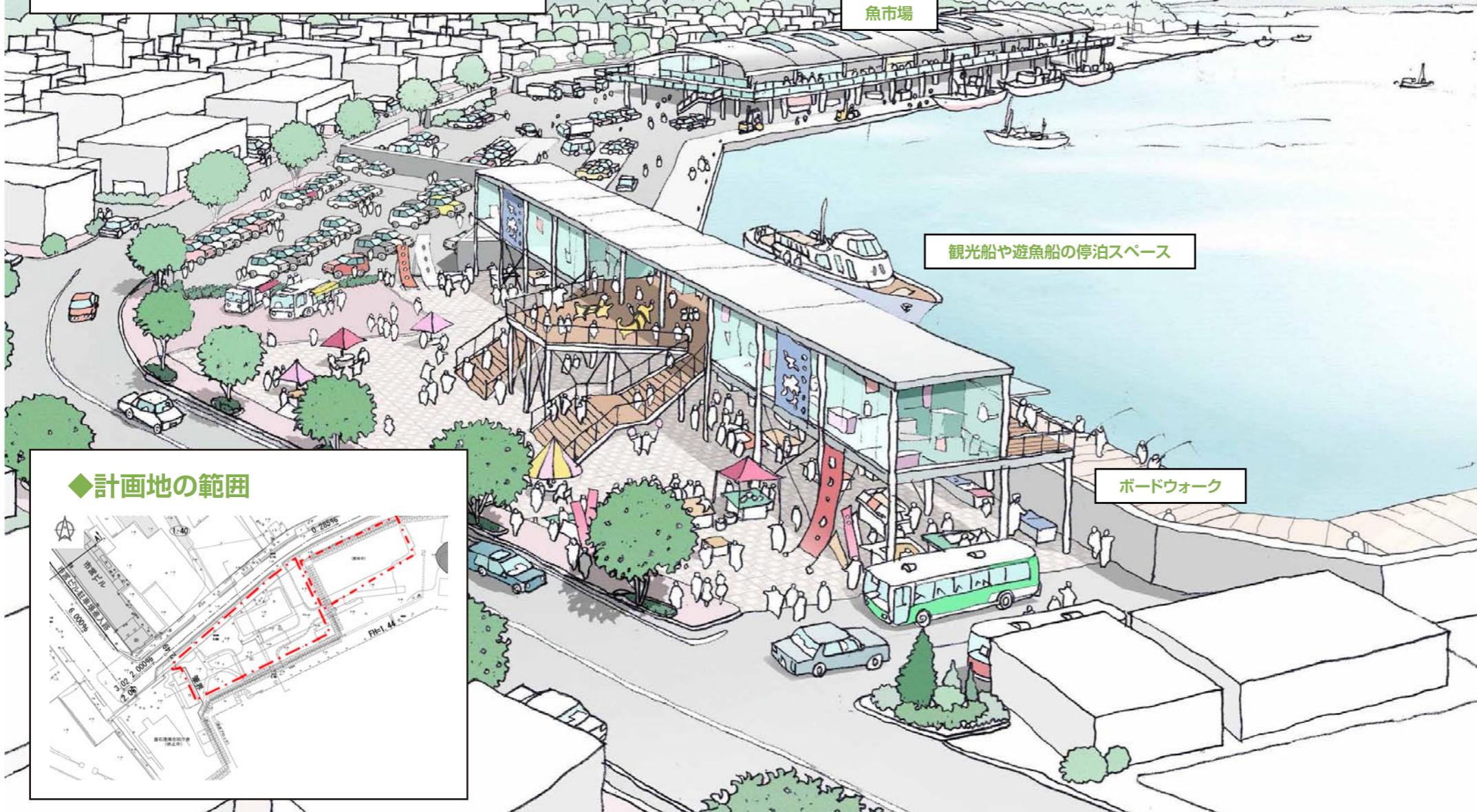


- 海と山がもたらす憩いと安らぎを感じられる場
- 新魚市場や背後地を利用した漁業・水産加工業の集積の場

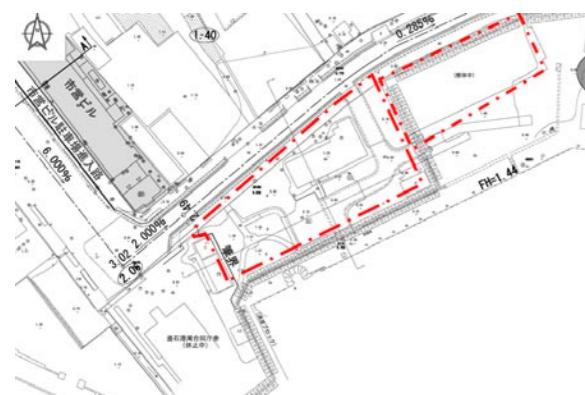
- 漁業体験学習など海と魚について学び・体験できる場
- 市民や観光客が海の幸を満喫できる場

◆計画地の概要

所 在	岩手県釜石市魚河岸1丁目		
敷地面積	約2,500m ² +約1,500m ²		
用途地域	準工業地域		
建ぺい率	60%	容 積 率	200%
防火地域	指定なし		



◆計画地の範囲



①海を楽しむ仕掛けをつくる

市民にとって、海辺散策や釣りといった日常的な親水空間利用の魅力を高めるとともに、中心市街地の商店や歴史、景観スポットと連携させた回遊を楽しめる仕掛けを作ります。

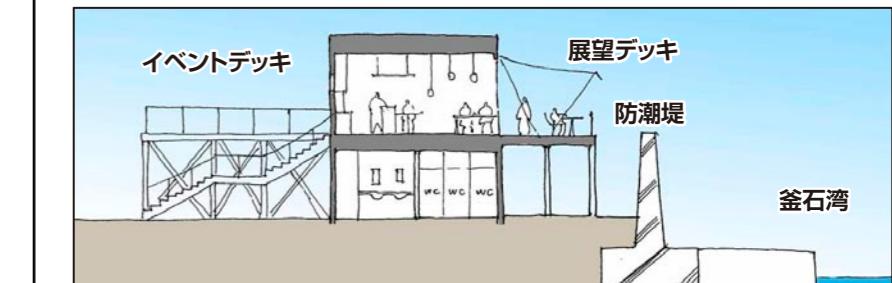
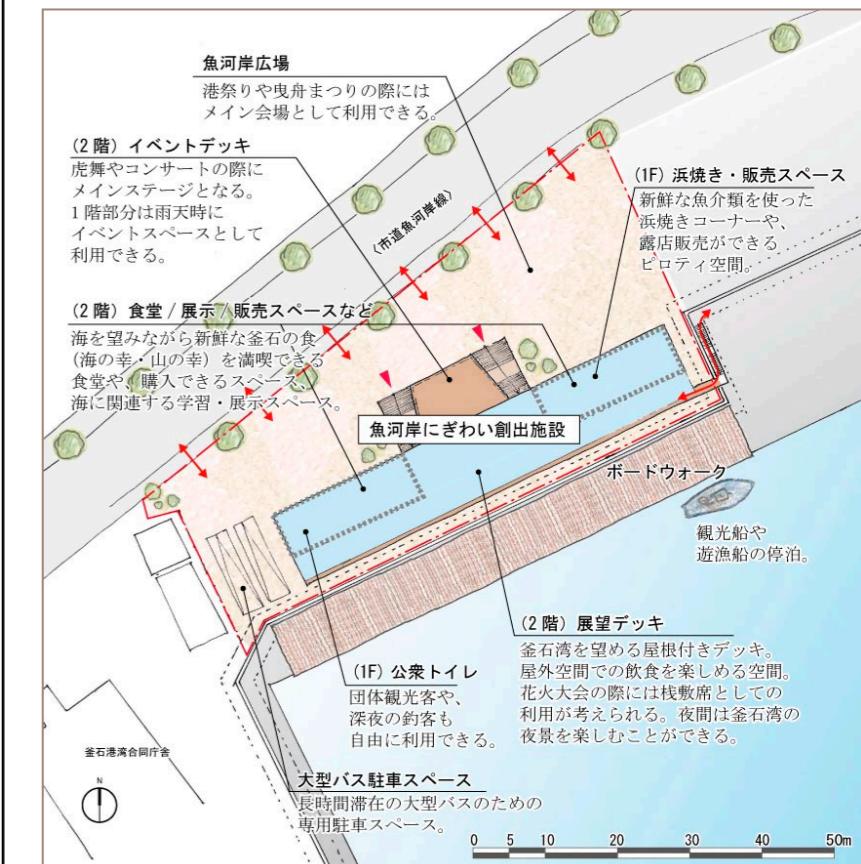
また、歴史や文化と景観資源を活かし、眺望や海風を感じながら、心身を癒し、安らぎを求める場所、健康づくりや散策を楽しめる場所を意識した整備を行います。

②かまいし海の幸の魅力を活かし産業につなげる

魚市場や漁業協同組合と連携することで、海の幸の魅力を活かし、他地域では味わえない食のサービスを提供していくことが必要です。

新魚市場には、見学デッキが新たに整備される計画となっており、海や漁業について学ぶことができます。また、漁業関係者や水産技術センター、岩手大学などと共に学習プログラムを開発したり、海に関して学べる環境を整備することで、新たな産業へつなげます。

◆施設配置計画図



③観光客やイベント利用者への対応

観光シーズンには大勢の観光客を受け入れ、祭りやイベント会場として利用しやすい機動性を備えた広場や利便施設(トイレ、休憩、駐車場等)の充実を図ります。

また、新たな来訪者の開拓やリピーターを増やしていくためには、釜石の魅力をPRするとともに、「おもてなしの心」の醸成や、地域住民が自発的にイベントを企画・開催できるようになるための取組を実践していきます。